

の際、便座数は減りますが、すべて洋便座にする予定です。ガラス飛散防止修繕施設内のすべての窓ガラスに飛散防止フィルムを貼ります。

使いづらい男女のシャワー室を改修し、いつでも、シャワーの利用が可能となります。

生活実習室にある調理台、多目的ホールにあります。

●図書の返却等
現在、風除室にある返却BOXを玄関外側に移動させる予定ですが、これまでどおり利用できません。

●公民館業務

公館の利用・申請などはできませんが、職員はこれまでどおり、印刷室（臨時事務室）で業務を行います。また、夜間、土日についてもシルバー人材センター職員が在館する予定です。

なお、工事の進捗状況により、安全面を考慮した上で、平成26年1月以降、工事期間中でも一部部屋の貸し出しを行う予定です。具体的な時期等については、改めてお知らせします。

●出張所業務

工事期間中は、何かとご迷惑をおかけしますが、ご協力の程、よろしくお願い申上げます。

1月6日（月）から業務を再開する予定です。

出張所は、平成25年12月27日まで閉鎖し、翌年1月6日（月）から業務を再開する予定です。

●印刷機・陶芸窯・備品等

印刷機やコピー機、陶芸窯の利用、備品の貸し出しは行えませんので、ご協力をお願いします。

また、図書館からの預かり本の受け渡しは、印刷室で行う予定です。

施設の鍵の受け渡しは、工事期間中、臨時事務室で行います。

また、ふれあいプラザの利用申請、毎月の一斉受付も引き続き行う予定です。



休館について 工事が行われます～

工事の概要

C（鉄筋コンクリート）

造の建築物の柱や梁、さらには架構全体が破壊しないようにするためです。

①耐震補強工事

一昨年の耐震診断の結果を受け、一階事務室脇の壁を壊し、新たに強固なコンクリート壁にします。そのため、これまで図書コーナー側にあつた公民館カウンターが壁になります。出張所の待合室が若干狭くなります。

また、トイレや多目的ホール内のシャワー室・倉庫の間仕切り部分のブロック壁も撤去し、新たに補強します。

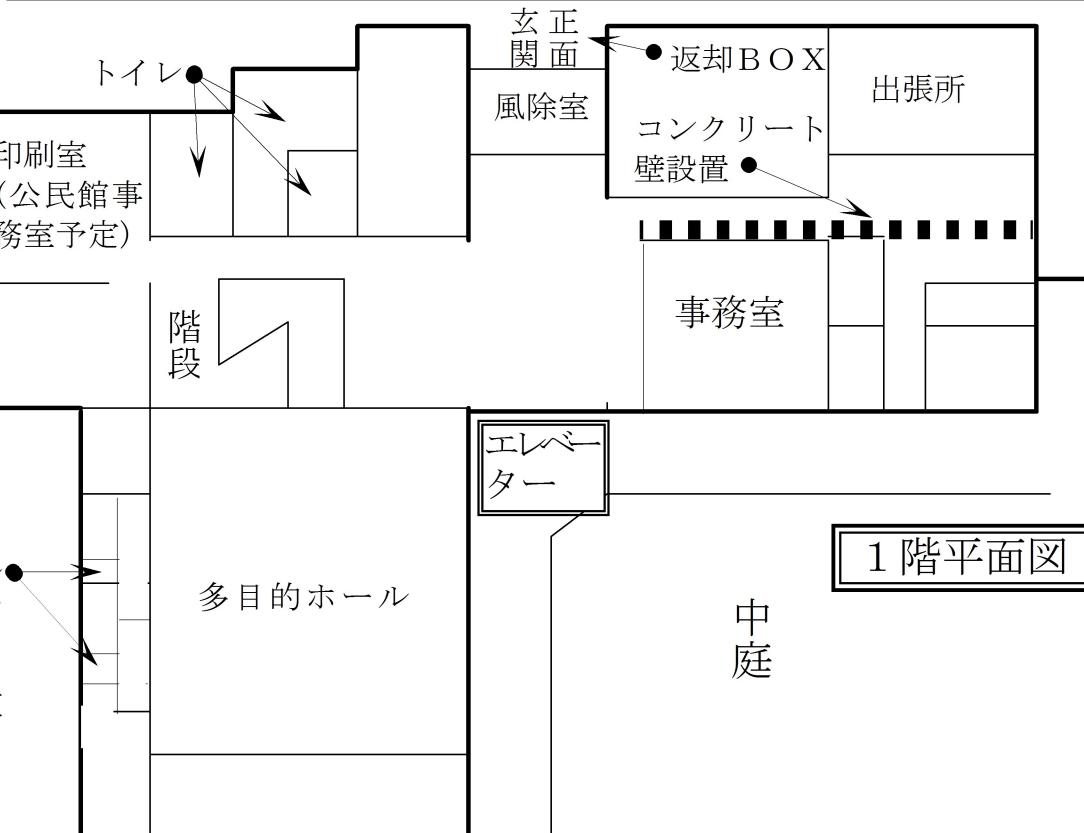
その他にもスリットと呼ばれる柱や腰壁などの雑壁の間に設ける隙間や目地を、建物の各所に設けます。これは、大きな地震が発生した際に、R

直進すると、中庭へと通じる出入り口があります。その出入り口部分にエレベーターが設置されます。二階へ上がり通路部分になるところが、和室2にぶつかるため、これまでの和室2を和室1側へ移設・縮小させ、その部分にエレベーターホールと物入れを設けます。

③他の工事内容等

・トイレ改修

ブロック壁の撤去に伴い、1、2階のトイレ改修を実施します。そ



建築から32年目を迎えた南畠公民館。一昨年の耐震診断に続き、昨年は耐震設計を行いました。そして、この10月から来年の3月までの間、耐震補強工事やエレベーター設置工事が予定されています（全面休館は平成25年12月27日までの予定）。1月からは出張所など一部を開館）。

(担当／野本巳智子、大澤敦子、行川哲哉、表紀子、松下佳子、清水義昭)